

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 2022年度採用教員採用試験に挑む！

2022年度教員採用試験(一次)が、7月11日(日)に千葉県、東京都、埼玉県等で実施されました。本学からは現役、卒業生を含め、総勢24人が挑戦いたしました。試験に先立つ7月7日(水)には恒例の「壮行会」が開かれました。今後METTSは、7月22日からの採用試験二次対策第1クールから、9月9日までの第5クールに至るまで、全力を挙げて支援していきます。受験したすべての4年生と卒業生の合格を教職課程センター一同は心から祈念いたします。

2021年7月7日(水)に、恒例の教職課程センター主催の「2022年度教員採用試験壮行会」が開かれました。講義室内の新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、今年度東京都、千葉県、埼玉県等の中高国語、中高英語、小学校全科で教員採用試験を受験する13人の学生を始め、1年生から3年生の教職課程履修学生、本学職員、METTSの教職員等総勢100人が集まり、例年以上に盛り上がりのある壮行会になりました。高野敬三副学長・外国語学部長・教職課程センター長からは、激励の言葉と一人ひとりにあてたメッセージ、亀戸天神のお守りの贈呈がありました。メッセージと必勝お守りを手にした学生は、これまでの教職課程での学修を振り返り、強く教員採用試験の合格を胸に刻みました。今年度の受験生代表の英米語学科4年の鶴沢美里さん、日本語学科4年の奥山未彩さんの力強い合格に向けての決意表明がありました。二人の決意表明は、今までご指導いただいた先生方への感謝、今日の激励会に参加してくれた皆さんへの感謝、そして受験生が一つになり、本番もみんなで頑張ろうという内容でした。最後にMETTSの教職員一人ひとりから激励メッセージがありました。

明海大学は、教員採用試験での健闘と最終合格を手にするまでの努力に対し、心から応援しています。すべての受験生が、最終合格を手にするのを祈念申し上げます。



2021年度教職履修2年生個人面談開始

6月10日(木)から7月2日(金)の間に、2年生の個人面談を実施しました。面談の内容は、教職課程を選択した理由、どのような学校種で教えたいか、具体的に採用試験受験を考えている都道府県名、今感じている不安、疑問、悩み、そして最後に明海大学生としての満足度等を聞き取りしました。

学生との面談を終えて感じたことは、コロナ禍で100%の対面授業ができないことが、満足度のあまり高くない理由であることがわかりました。しかしながら、昨年度との比較では、対面の授業が増えて友人と一緒に勉強できることの素晴らしさを痛感したとの感想も多くありました。

METTS教職員は、引き続き学生にきちんと寄り添い心理面でもサポートしていきます。



アゴラ活用状況(人)

6月	540
2018年度 から延べ数	35,168

地域学校教育センター関連事業等

東京都立田柄高等学校「留学生との交流会」開催

7月7日(水)、本学と高大連携校である東京都立田柄高等学校において「留学生との交流会」が行われました。これは、本学外国人留学生と高校生との交流を通じて互いの文化に触れ理解を深めることを目的としたものです。本学からは、METTSの坂本純一教授と多言語コミュニケーションセンターの範弘宇講師の引率の下、中国、台湾、ベトナム、スリランカ出身の外国人留学生14人が交流会に参加しました。その後、留学生は田柄高等学校の1年生5クラスに行き、それぞれ自国文化について思い思いの写真・動画やスライド資料を投影しながら紹介を行い、質疑をやり取りするなどしました。最後に、加藤竜吾校長から英語での歓迎のご挨拶をいただき、国際交流員を務める生徒たちと懇談して交流を深めました。英米語学科3年のプラギート・クマーラさんは、「このように異文化の人たちが集まって協働学習を行うことは、とてもいい経験になります」と語っていました。



2021年度「校内寺子屋」はじまる

本学と高大連携協定を結んでいる東京都立葛西南高等学校で実施される「校内寺子屋」事業では、毎年教職課程を履修している英米語学科の学生の多くが講師役を務めております。「校内寺子屋」事業とは、都立葛西南高等学校が2016年度から東京都教育委員会の指定を受け開始しているもので、都立高校生の基礎学力を向上させる放課後の補習授業のことです。今年度で6回目となる本事業では、英米語学科2年の磯野奨さん、上原二葉さん、内山瑞貴さん、児島晴香さん、桑原百蘭さん、小林優汰さん、佐久間陸人さんの7人が講師を務めます。9月からの正式スタートに先立ち、7月13日には、METTSの坂本純一教授が引率をして、同校の教室で事前オリエンテーションを行いました。関山勝之校長、高山庸子副校長のご挨拶をいただいた後、学生たちは教材として使用するテキストをどのように教えるか考えました。代表して佐久間陸人さんが他の学生を生徒に見立てて模擬授業を行いました。模擬授業をした佐久間さんは、「早く9月になってほしい。実際の高校生相手に授業をすることで緊張はしていますが、授業をすることを楽しみにしています」と語っていました。



都立葛西南高等学校

昨年12月からMETTSの事務に携わっている玉貫美幸さんからは、半年間の勤務の中でMETTSを訪れる学生の姿を見てきて次の感想をいただきました。「毎日、朝からMETTSには学生の皆さんが集まっています。課題に真剣に取り組む姿、お互い励まし語り合う様子は、若さに溢れていて本当に眩しく思います。夢に向かって頑張る皆さんを心から応援しています」

